



# 1 ベトナム人材受入拡大推進事業費

予想を上回るスピードで少子化・人口減少と若年層を中心とした県外への転出超過が進行し、人手不足が深刻化する中で、未来を支える産業人材として外国人材の受入れが急速に進められてきたが、送出国の経済成長や円安等の影響により、円滑な人材受入れが難しくなりつつあることから、本県が友好交流を進めてきたベトナム社会主義共和国ベンチエ省政府や優良送出機関と連携し、ベトナムからの適正・円滑な人材受入れ1,000人を目指す「愛媛モデル」の構築を図る。

お問い合わせ先  
経済労働部産業支援局  
産業人材課  
(089-912-2505)

指標	施策	16 製造業・サービス産業の成長促進と新企業の誘致 <b>KGI</b> 雇用者報酬及び企業所得の県内総額	現状値	3,441,824百万円(R1年度)
			目標値	3,649,760百万円(R8年度)
	細施策	16-1 産業人材力の強化 <b>KGI</b> 雇用人員判断D.I.の全国平均との差異	現状値	-18(R6.6時点)
			目標値	0 (R8年度)

事業イメージ	<b>KPI</b> 構築したスキームによるベトナム人材の受入れ人数 (ベンチエ省の送出し目標数を踏まえ設定)	現状値	- (R5年度)
		目標値	50人 (R6年度)

## 事業概要

**現状** 慢性的な人手不足が続く中、外国人材は既に本県産業に不可欠な存在

比較的距離が近いことに加え、文化的にも日本との親和性が高く、人材の質も高いベトナムの人気の高く、在留労働者数は国別で最多(3,768人)

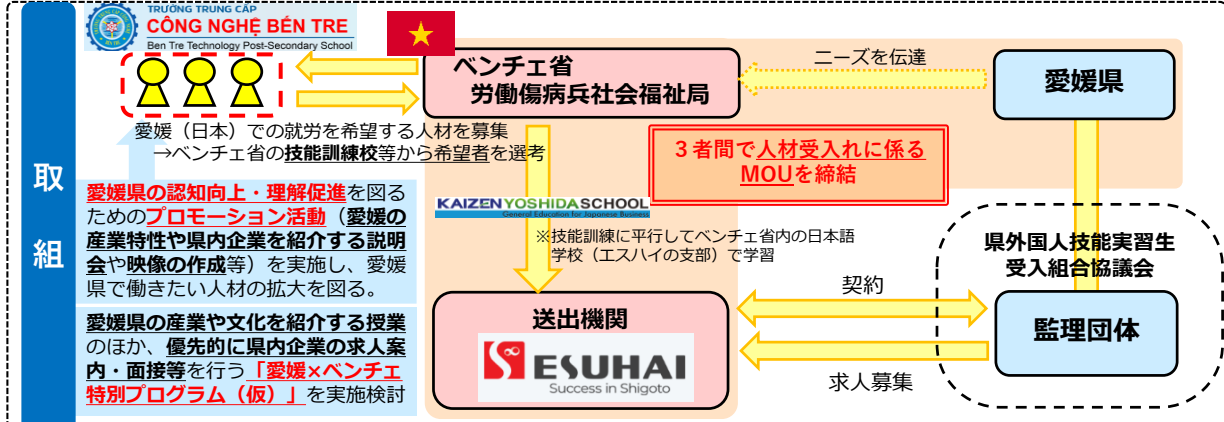
**課題** ベトナム人材については、近年、人材確保が難しくなっており、質の低下も懸念 (県中央会、県内の大手監理団体へのヒアリング結果から)

ベトナムの経済成長による働く場所の増加、実質賃金の減少・急激な円安進行、周辺国(韓国・台湾)や国内他地域との競争激化などの要因

他方、経済成長が遅れている都市部の周辺地域においては、低賃金、働く場所の不足、先進的なスキル習得への期待等、日本での就労に対するニーズが根強くある

これまで推し進めてきたローカルtoローカルの関係を活用した新しい人材受入れスキームを構築

- 1 ベトナム人材1,000人受入れに向けたモデル構築 2,959千円**
- 円滑かつ適正にベトナム人材の受入れを拡大するため、愛媛県とベンチエ省、優良な送出機関の3者が連携した「愛媛モデル」を構築する。
- ①ベトナム側とのMOU締結・事業実施に係る関係機関との協議
    - 内容：MOUに基づく事業実施に係るベンチエ省政府等関係機関、送出機関との協議・現地調整
  - ②「愛媛」の認知獲得に向けたベンチエ省でのプロモーション活動
    - 内容：県外国人技能実習生受入組合協議会と共同で関係機関訪問 愛媛の認知を獲得するためのプロモーション資材の製作



- 2 県内監理団体・企業に向けたモデルの周知** 【既定予算で対応】
- MOUを締結した送出機関と連携し、県内の監理団体や企業を対象にしたセミナー等を開催し、モデルへの理解促進を図るとともに、ベトナム人材の活用に向けた機運を醸成する。
- 内容：セミナー等の開催、県内企業訪問 等